

めぐみの学校の子

恵田小 校長室だより

令和元年十月二十五日

No. 139

一人一人の舞台

よい香りで、秋の深まりを感じさせてくれるキンモクセイ。そろそろ花が終わり、季節は冬へと向かっていく。桜はもう少しで葉を全部落とし、厳しい冬の寒さの中、春の準備を進める。

いよいよ明日は恵田学区文化祭。恵田っ子にとっては実りのときである。恵田っ子は、学芸会の劇と音楽、作品展で文化祭をつくる。PTAは、バザーと作品展を中心に、そして、学区の皆さんは作品展で文化祭をつくる。年に一度の文化の祭典である。

恵田っ子は、劇と音楽が中心である。劇は学年ごと、音楽は全校での取り組みであるが、学年や学校としての願いをかけるとともに、一人一人の舞台となるよう、ともに取り組んできた。一人一人の役割が違い、一人一人の舞台である。一人一人にできるようになってほしいこと、学んでほしいことがある。恵田っ子一人一人も自分の目標をもって取り組んできた。明日は、恵田っ子一人一人が自己実現できる場となるように支えたいと思う。そして、この実りが、今の学年の残り半年を充実させるものとなるよう、また、来年度の新しい年の準備となるようにしたい。

今年度の恵田小の目標は「めぐみの和」である。学芸会も同様である。学級、学年、そして、恵田小の和を見ていただくとともに、一人一人の成長＝「実り」をともに喜び合えたらと思う。実りが恵田の「めぐみ」となりますように。



校内学芸会6年「ライオンキング」より

恵田っ子へ

伝（つた）えよう

恵田っ子ハーモニー、今年（ことし）のテーマは、「手（て）と手をつなぎ 心（こころ）をつなぎ 歌（うた）おう」ですね。このテーマの下（もと）、曲（きょく）が選（えら）ばれています。

一曲（いっきょく）ごとに思（おも）いをこめ、見（み）ている人（ひと）に、その思いを伝（つた）えましょう。恵田っ子の歌声（うたごえ）、器楽合奏（きがくがっそう）は、思いを伝えることができます。状態（じょうたい）に高（たか）まっています。明日（あす）は、自信（じしん）をもって演奏（えんそう）しましょう。

それぞれの学年（がくねん）の劇（げき）も同（おな）じように、劇（げ）ごとにつたえたいメッセージがあると思います。どんなことを伝（つた）えたいのか、それぞれの学年で確（たし）かめておいてください。一人一人（ひとりひとり）のがんばりも伝わるとよいです。



校内学芸会「恵田っ子ハーモニー」より